

国鉄「分割・民営化」阻止！三里塚二期着工粉碎！

# 当局の意図を體現し暴力で動労千葉。國労の反撃を絶叫する松崎一派

# 日刊 動労千葉

86.7.22

No. 2300

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
(鉄電)二九三五六・(公衆)〇四七二二(22)七二〇七

## 全国全職場から、動労革マル！ 真国労を叩き出し総決起しよう！

「暴力で国鉄改革」と叫ぶ松崎

—史上最凶惡のファシスト共を許すな—

『二十一世紀鉄道の担手は動労だ！』との見出しではじまるデマビラがこのほど国鉄当局の御用機関と化した動労「千葉地本」から出された。そこでは御丁寧にも不当労働行為として当局さえも出せないことが動労の名をもつて書き連ねられており、当局との醜惡なゆるぶりが明らかだ。敵の手先＝動労革マル・真国労粉碎一掃こそ国鉄労働者の勝利を拓く道である。

七月九日、鉄労大会に出席した動労委員長の松崎は「過去に鉄労組合員への暴力事件を素直におわびする」「動労は鉄労に学び、鉄労とともに歩む」「動労は鉄労と兄弟的な関係」と『あいさつ』をした。同日、開催中の動労大会では鉄労代表が「過去にこだわらず国労を打倒するためにも友好関係を深めたい」と『あいさつ』した。極悪暴力分子＝革マルと極悪マル生分子＝鉄労とが連合し、「国労解体闘争の推進」を方針化した。六・二九馬ル生大会（国鉄改革に取り組む職員の集い）において松崎は『改革の意図を力に、力で妨害者を壊滅へ』と言いなした。革マル・松崎は、当局をバックに国労・動労千葉破壊を暴力をもつかつてやろうというのだ。

松崎一派に「未来」などあるのか？！

—総評からもたたき出され、動労も解散し、

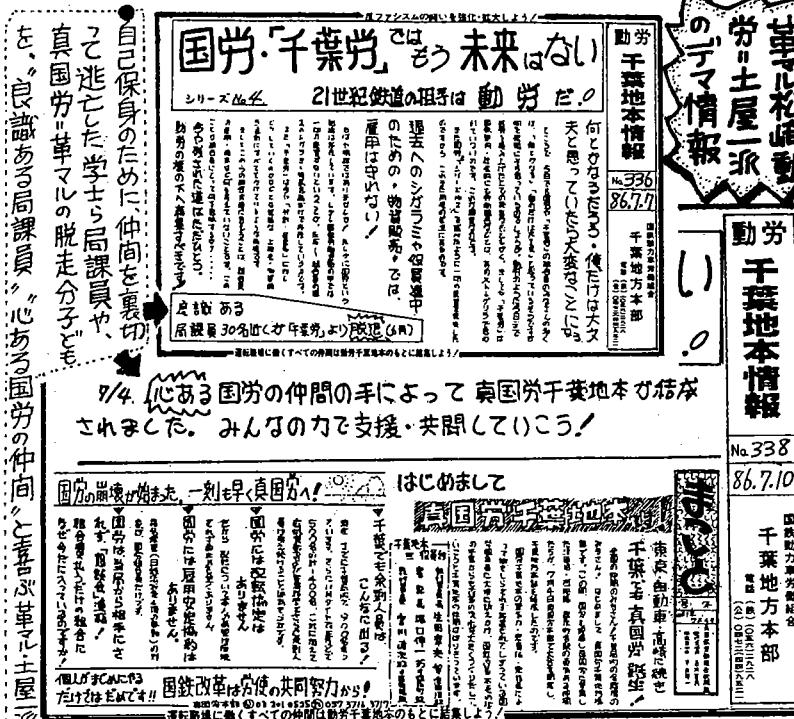
当局・鉄労の犬となつて生きる「未来」か！—

この「松崎」方針を「すばらしい方針だ」「よき指導者に恵まれた」などと礼賛する動労「千葉地本」のデマビラによると『二十一世紀の鉄道の担手は動労だ！』なる見出しで『国労・動労千葉には未来はない。心ある国労の仲間が真国労地本結成』さらにビラの中では『良識ある局課員が動労千葉より脱退』とか、『夏のボーナス、運転関係で二五%カット（ほとんど国労・動労千葉）そして上積みは派遣などに取り組んでいる動労組合員』などと書き連ねたうえに『今やのござれた道はただひとつ、動労の旗の下へ結集すべきです』と言つているのだ。

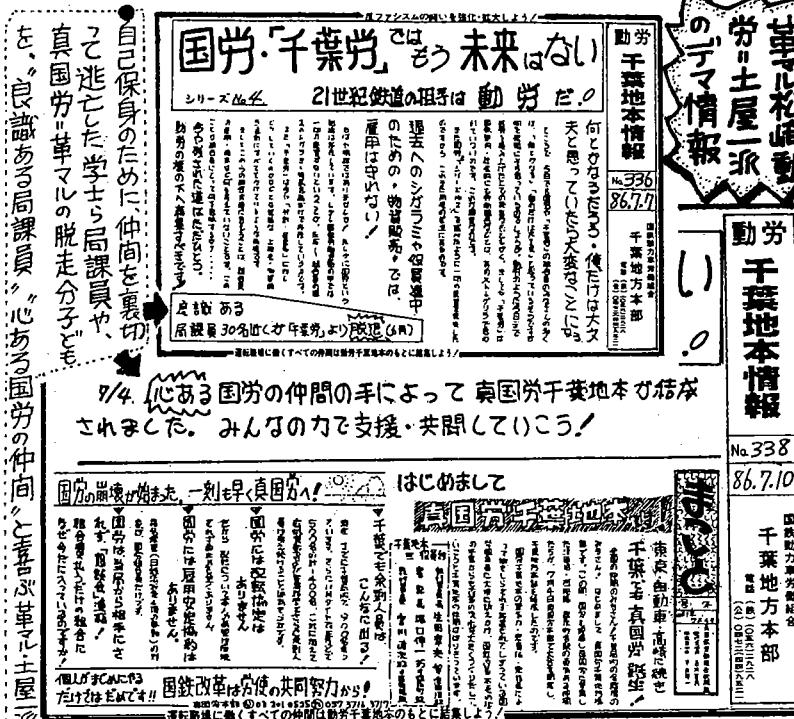
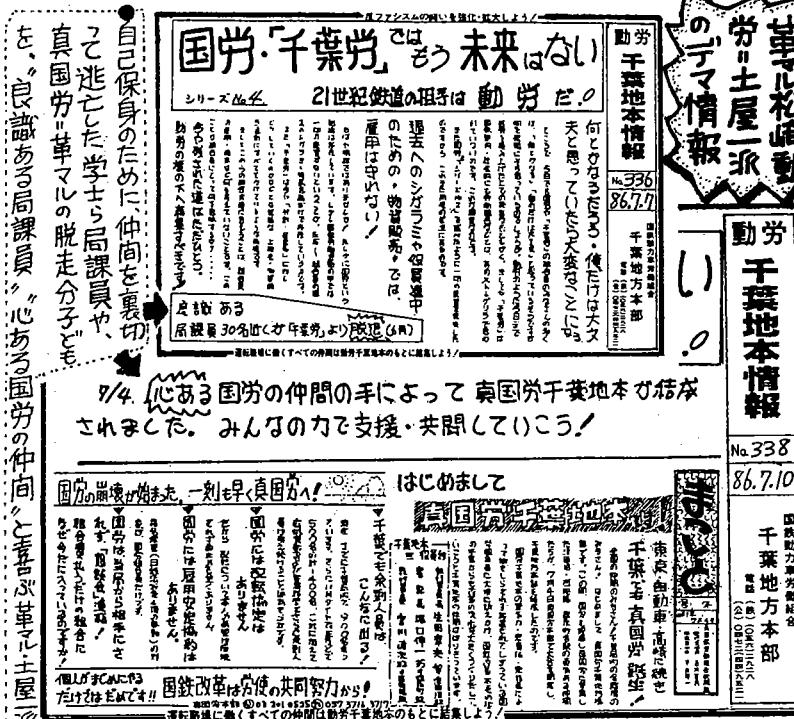
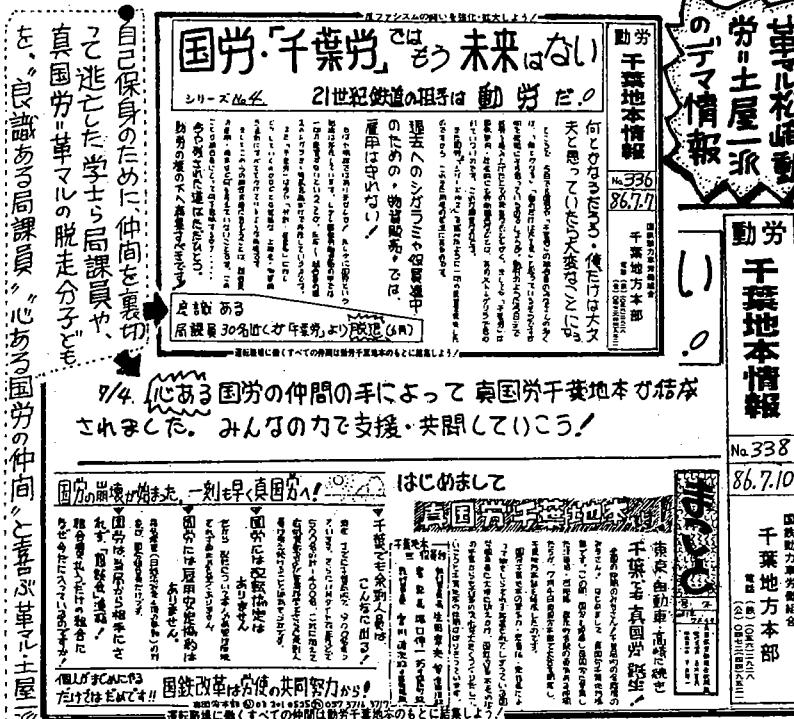
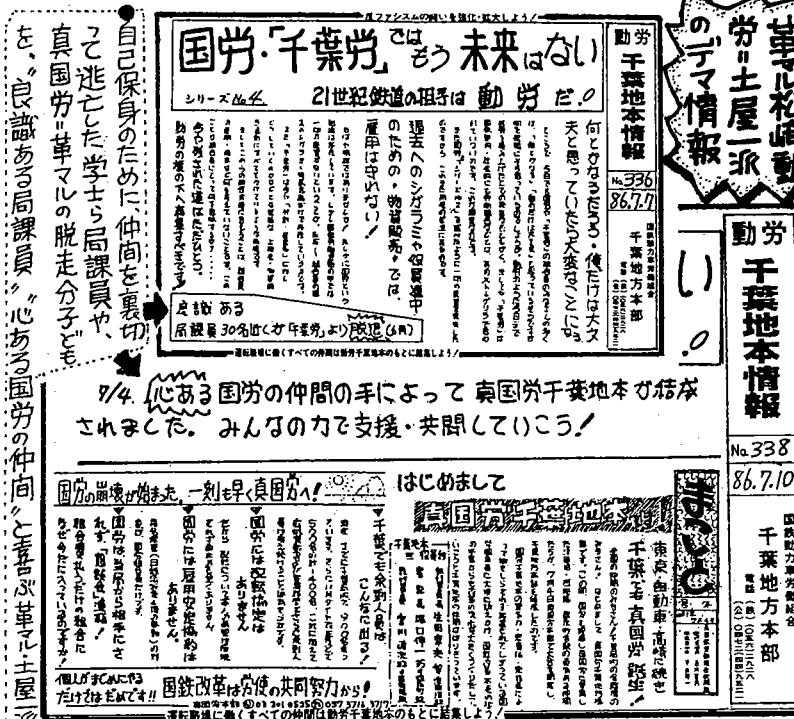
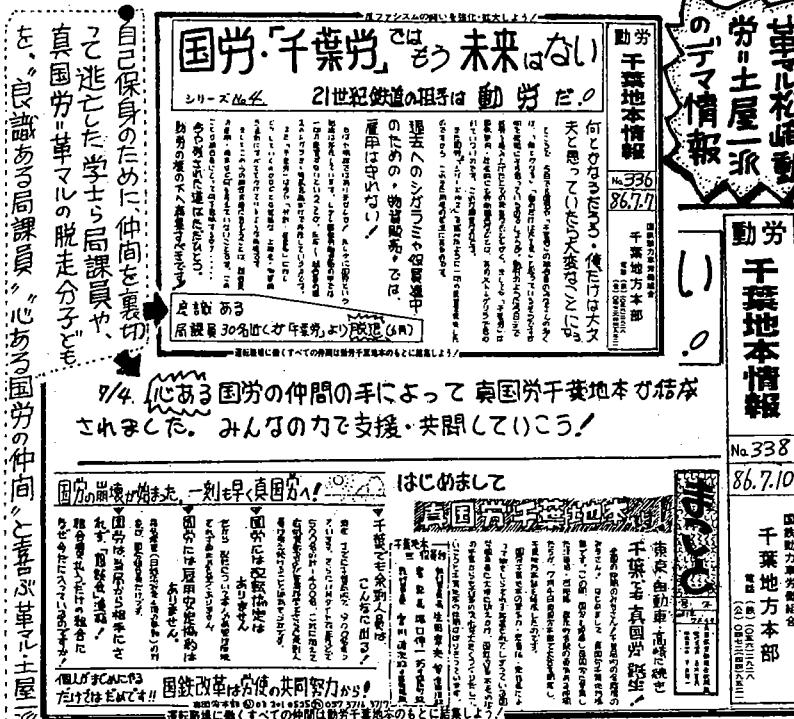
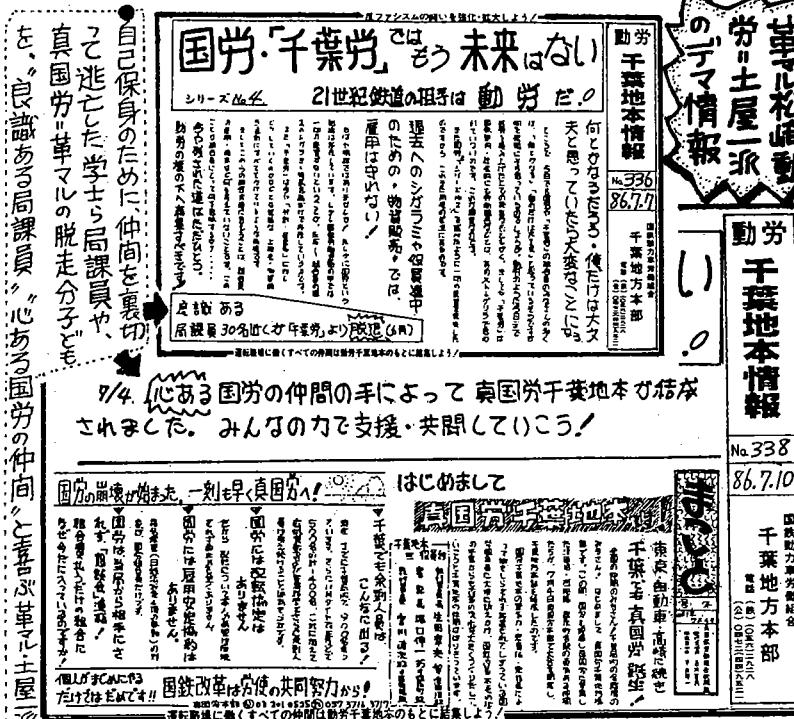
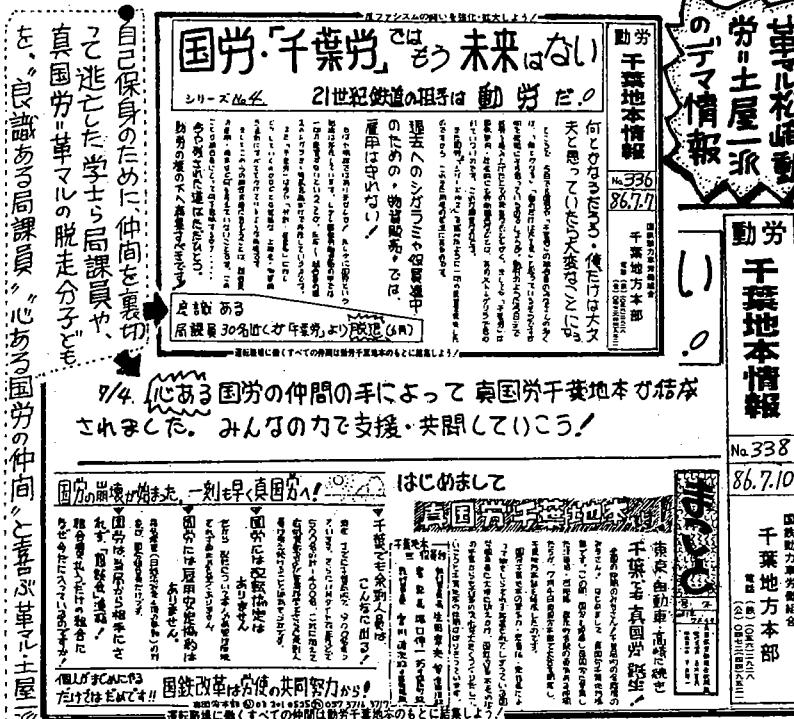
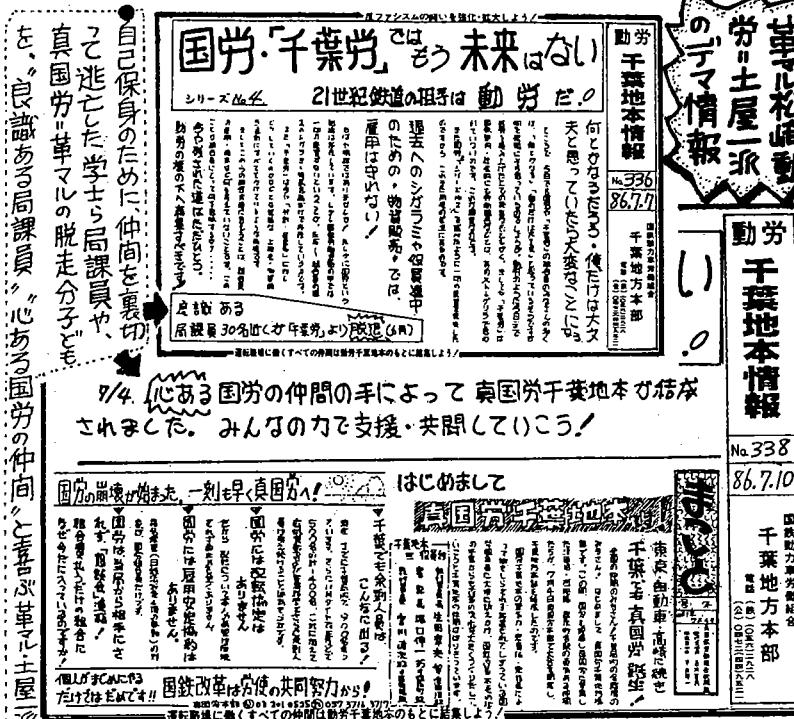
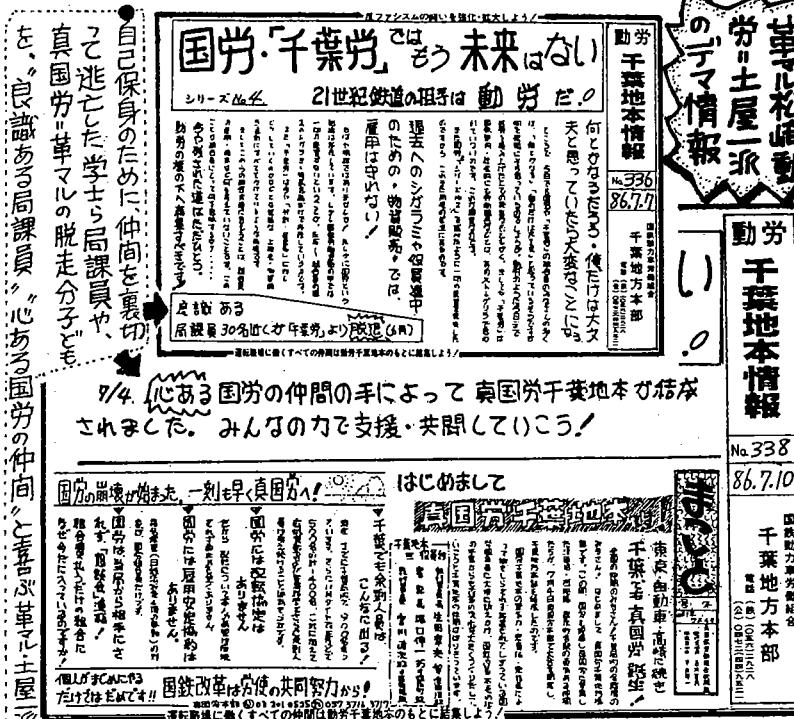
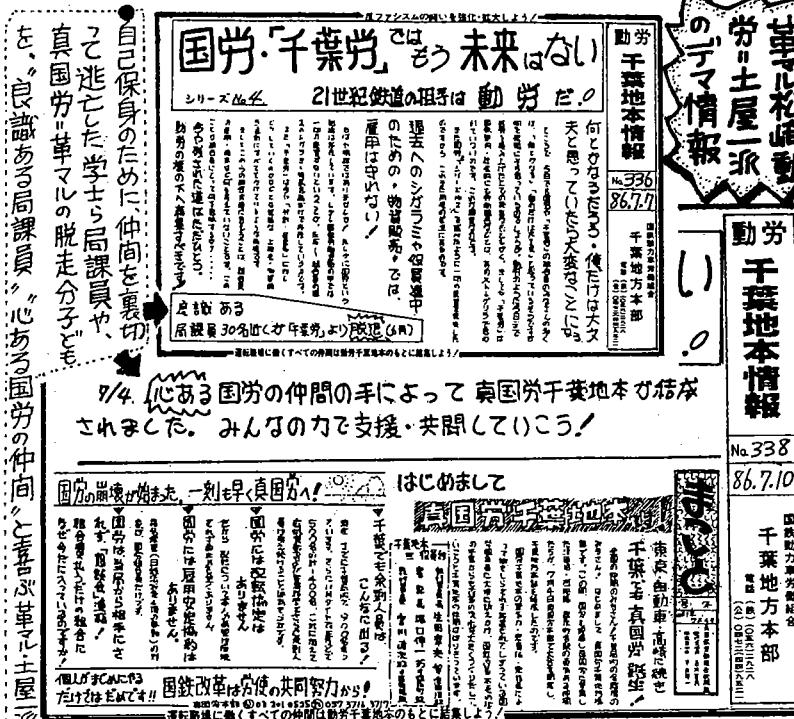
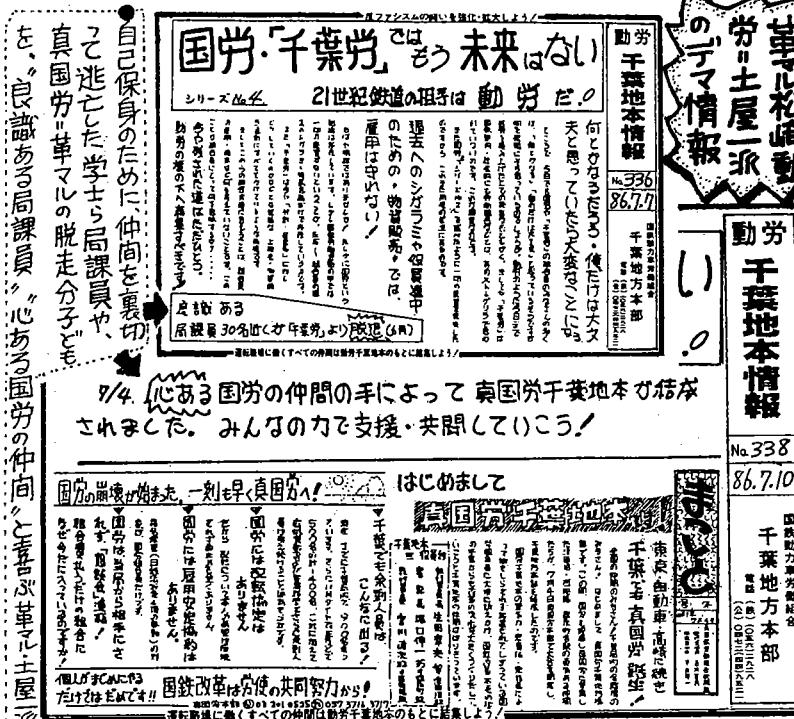
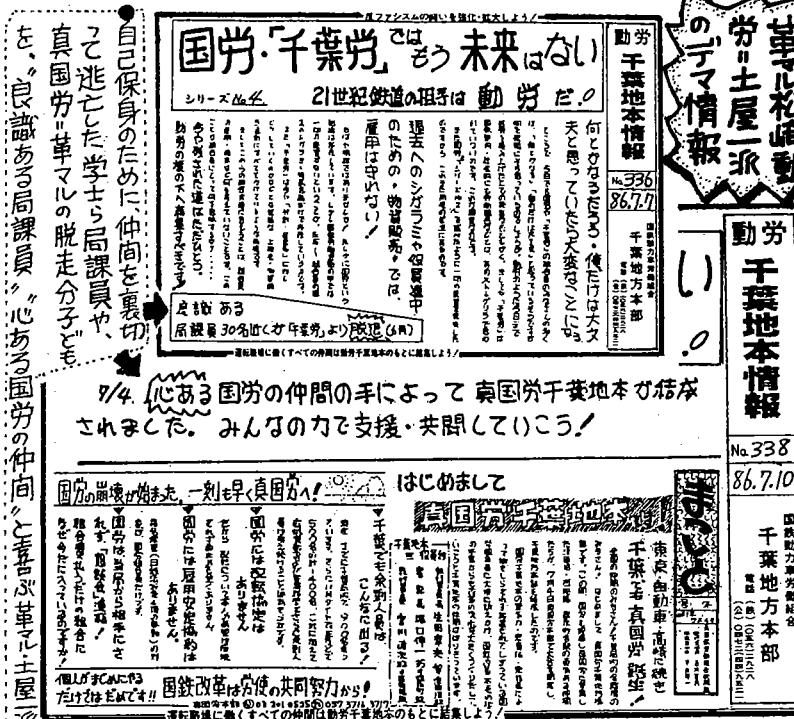
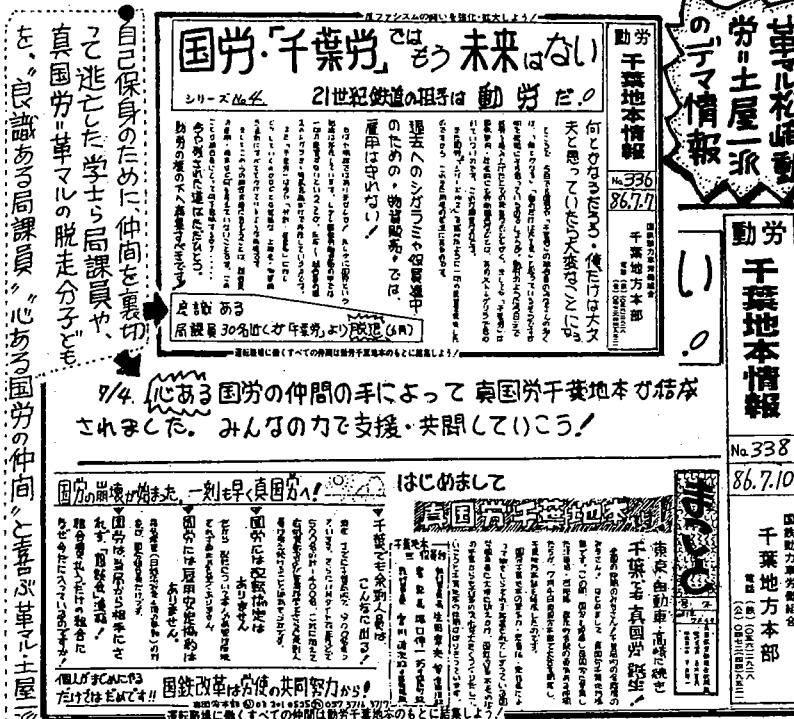
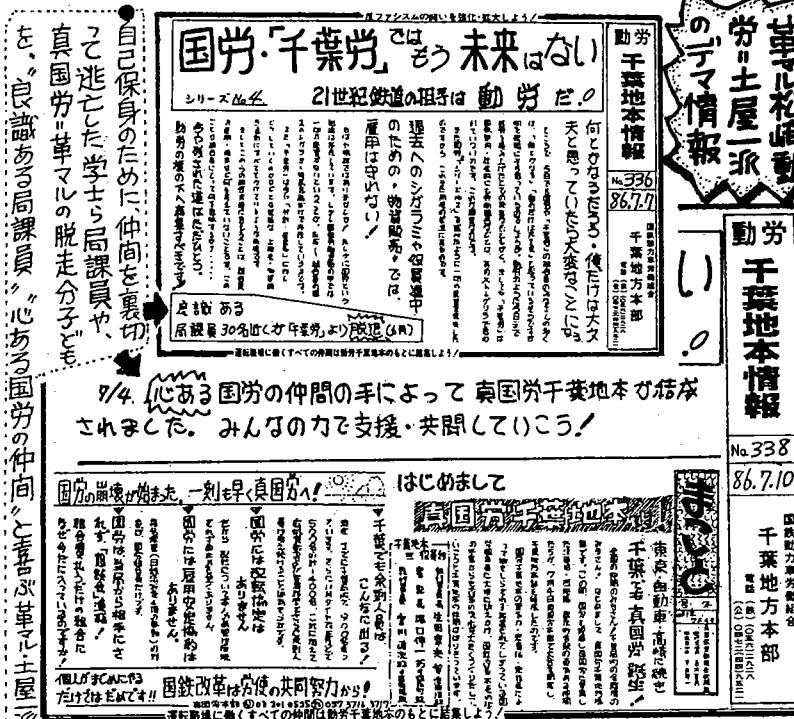
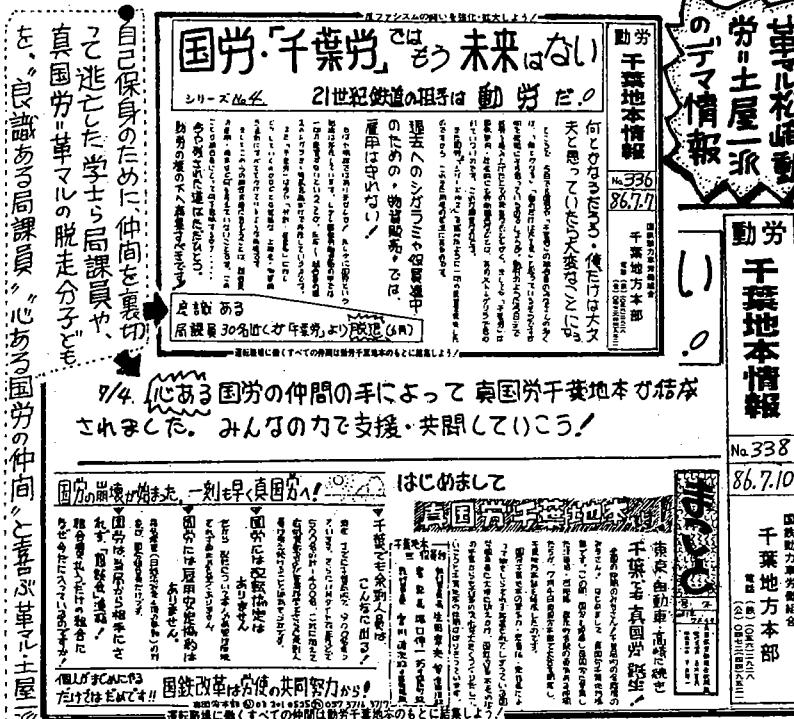
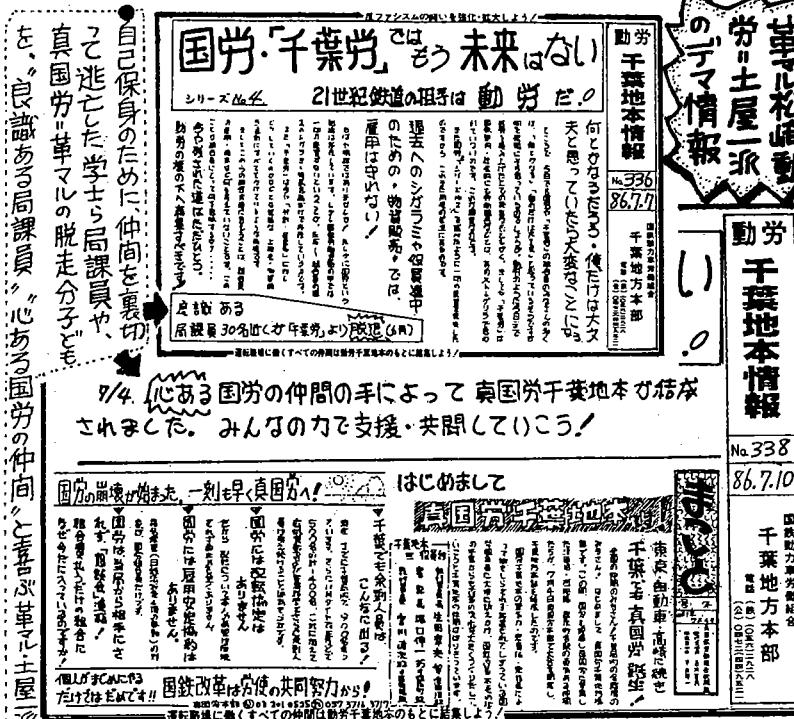
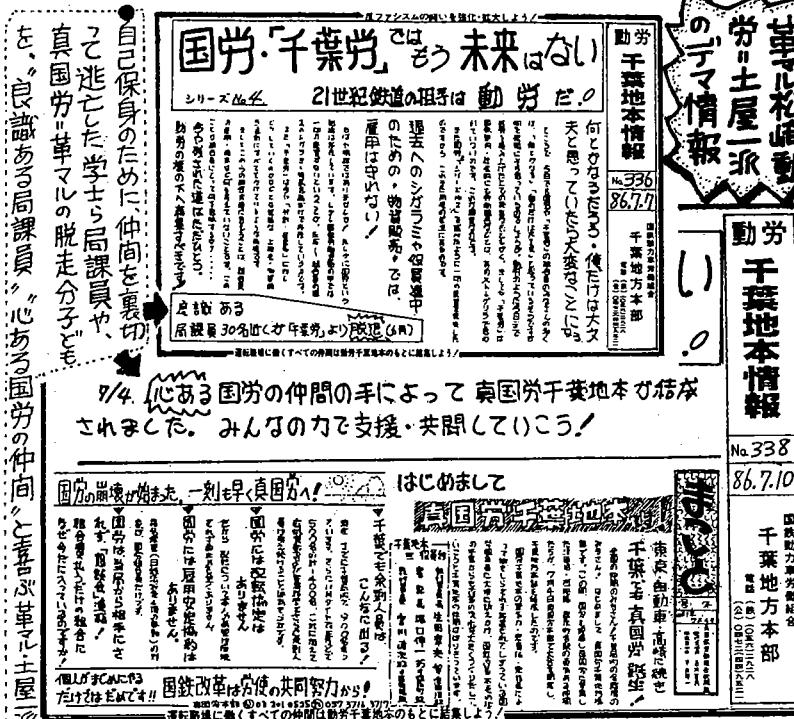
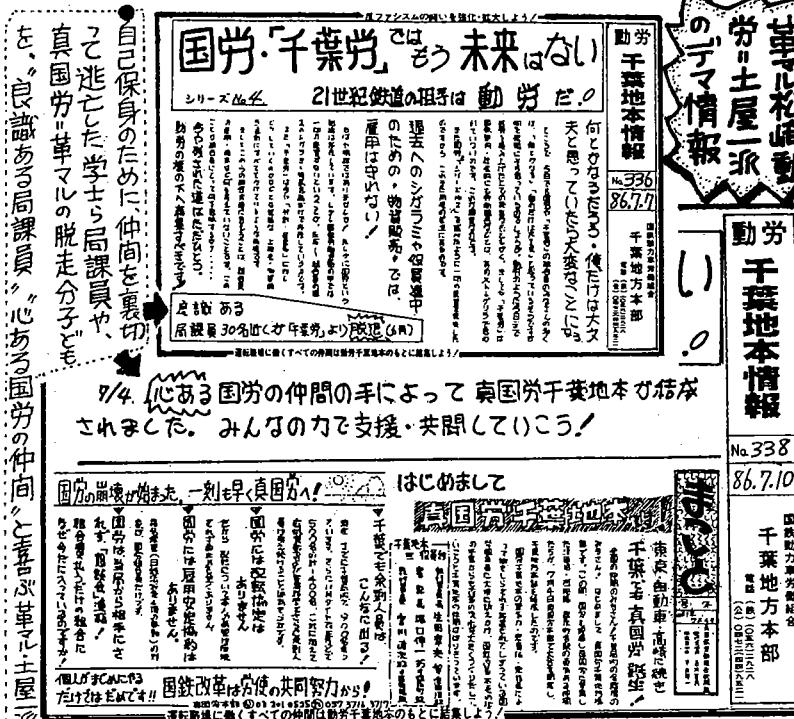
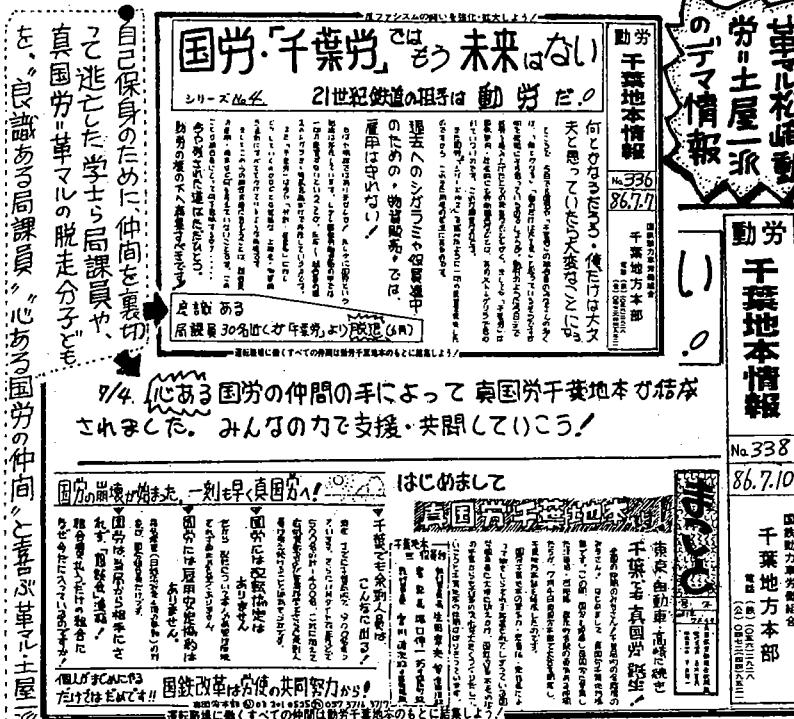
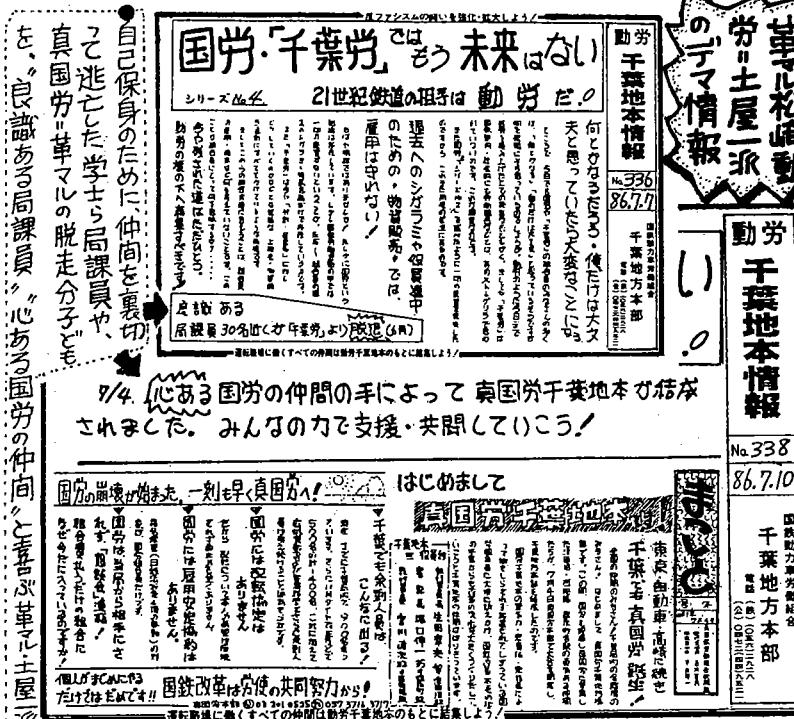
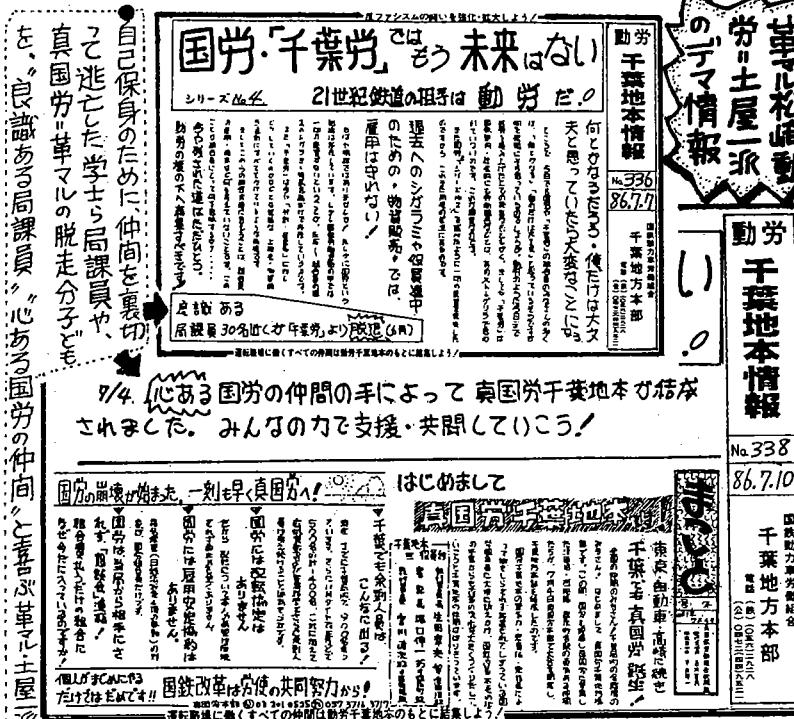
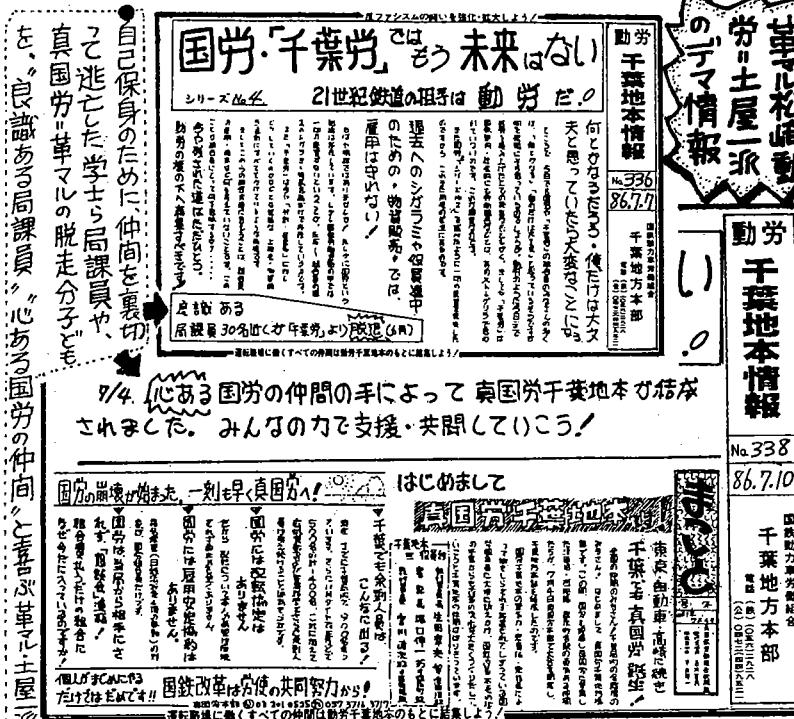
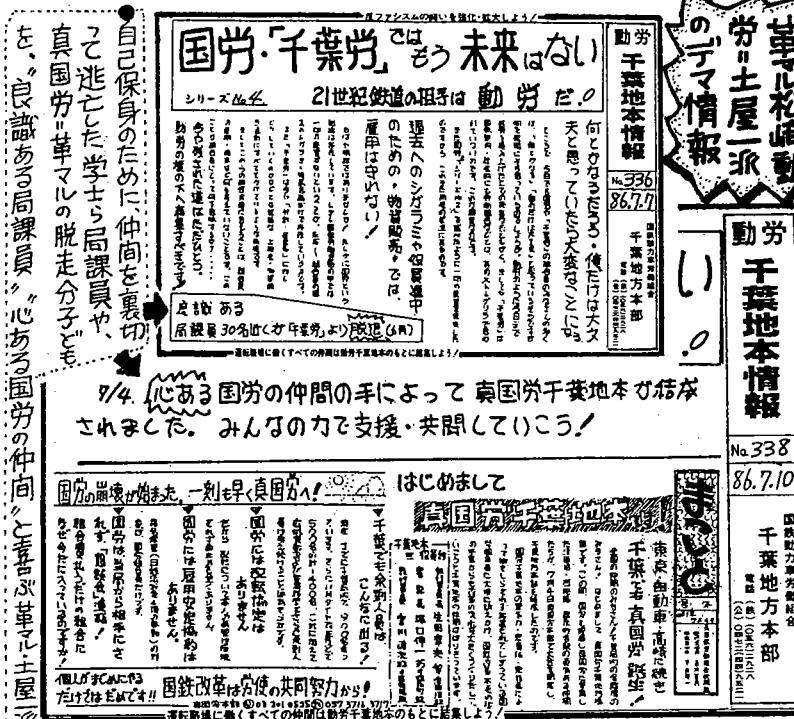
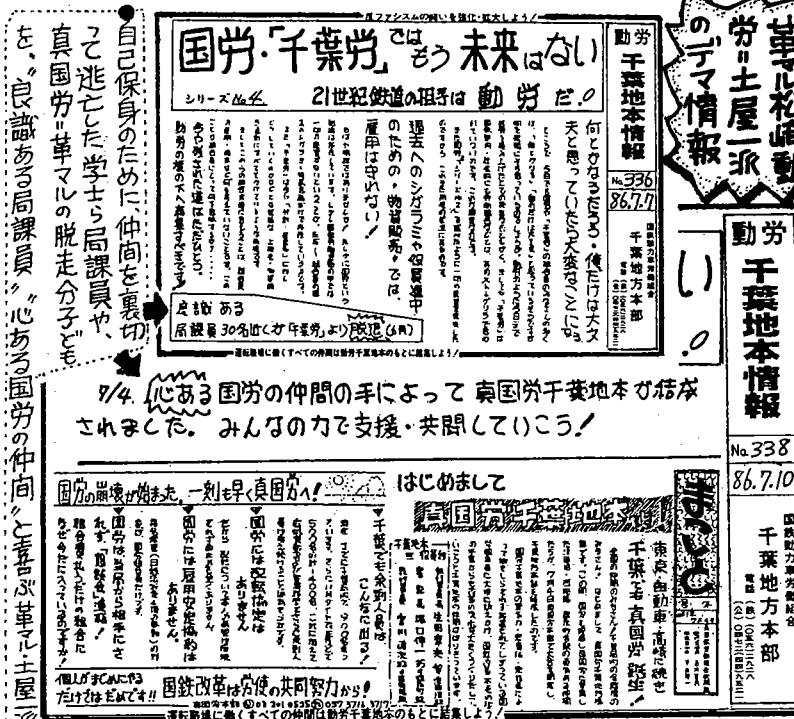
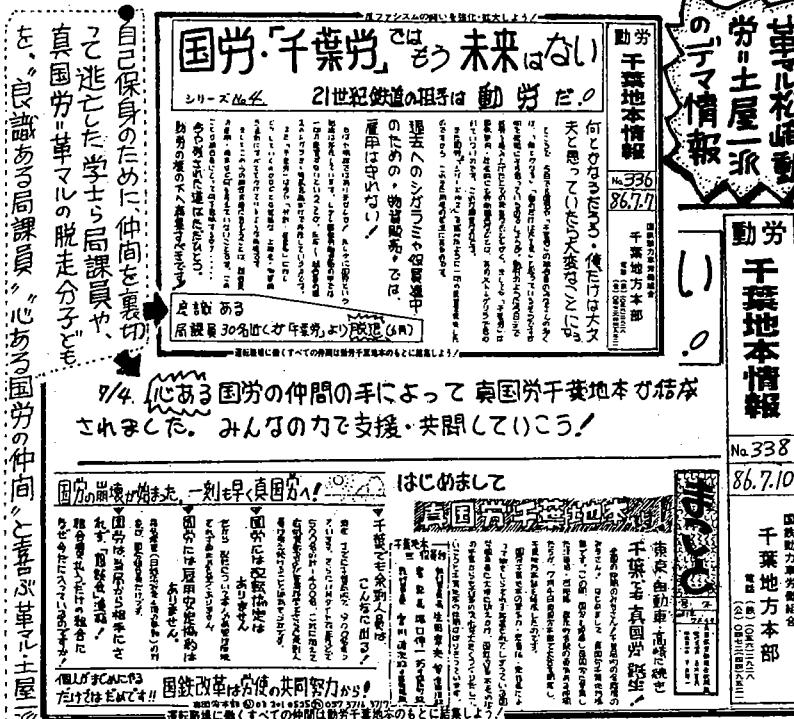
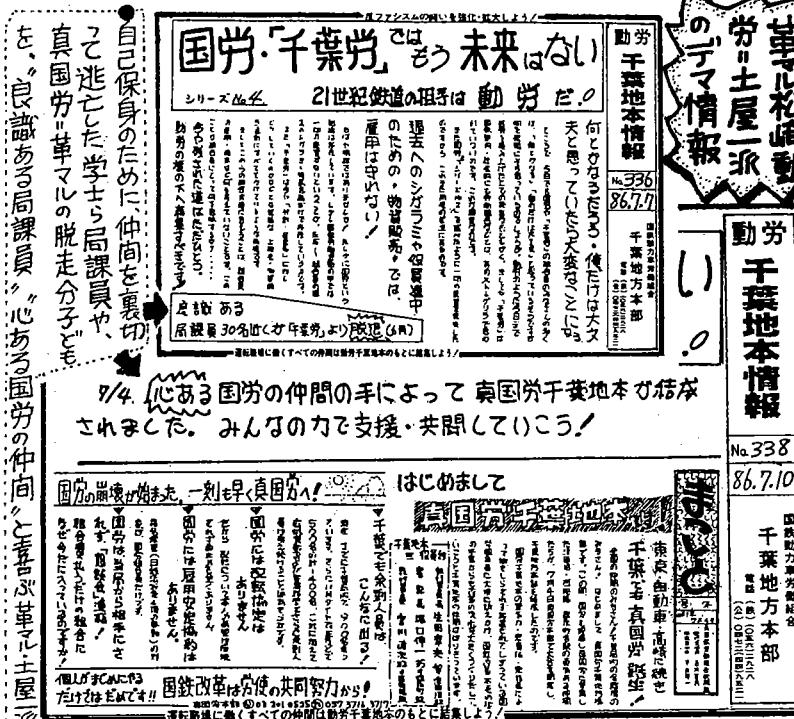
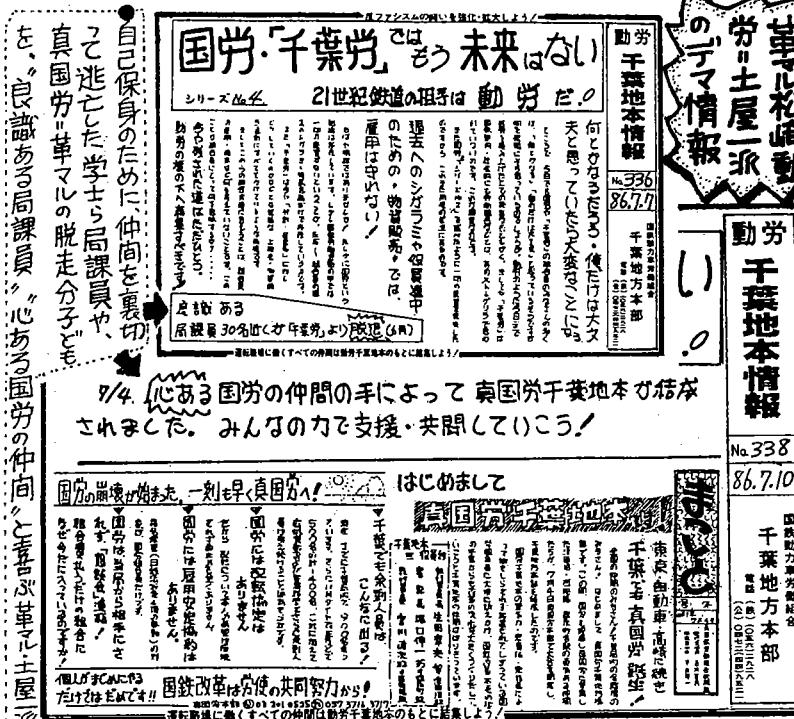
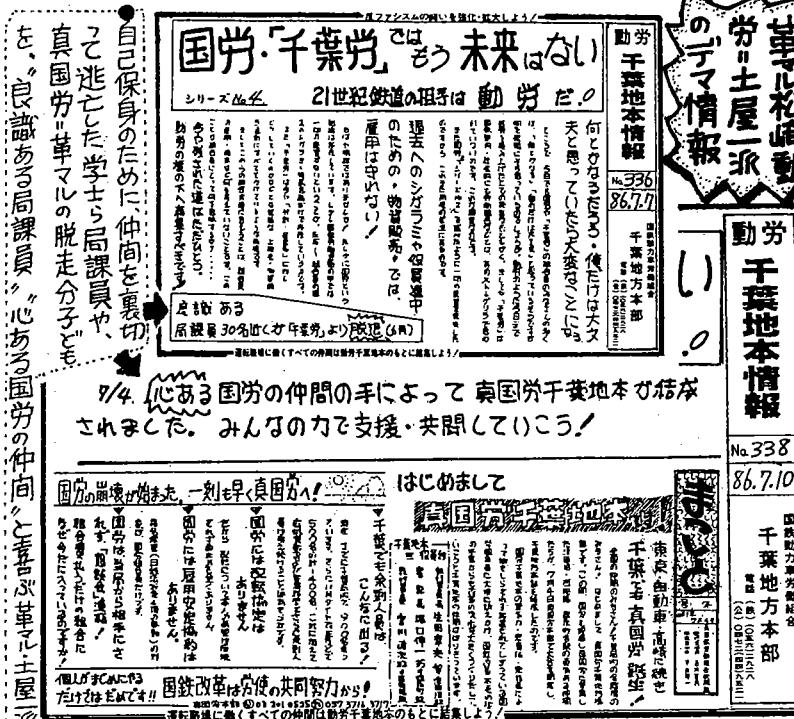
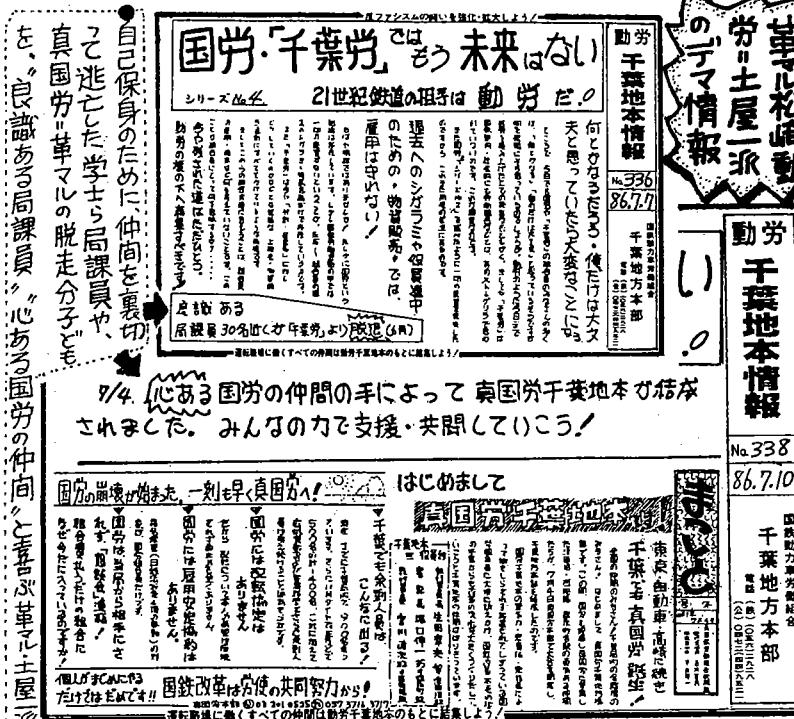
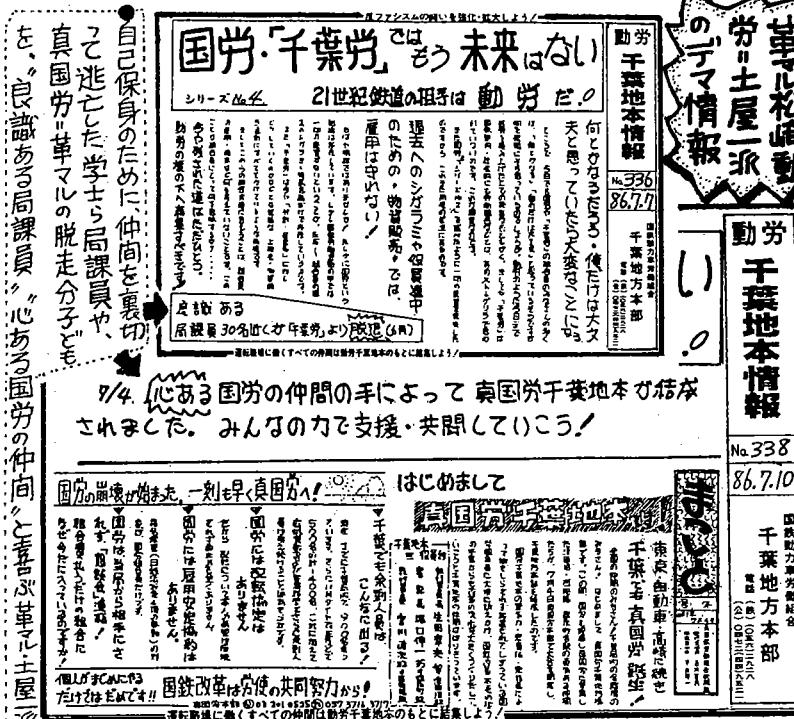
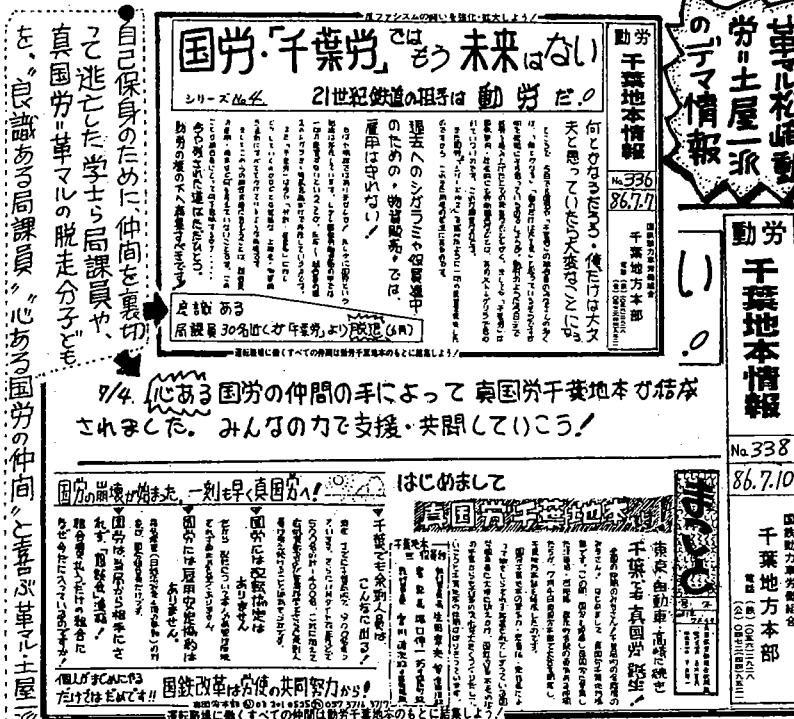
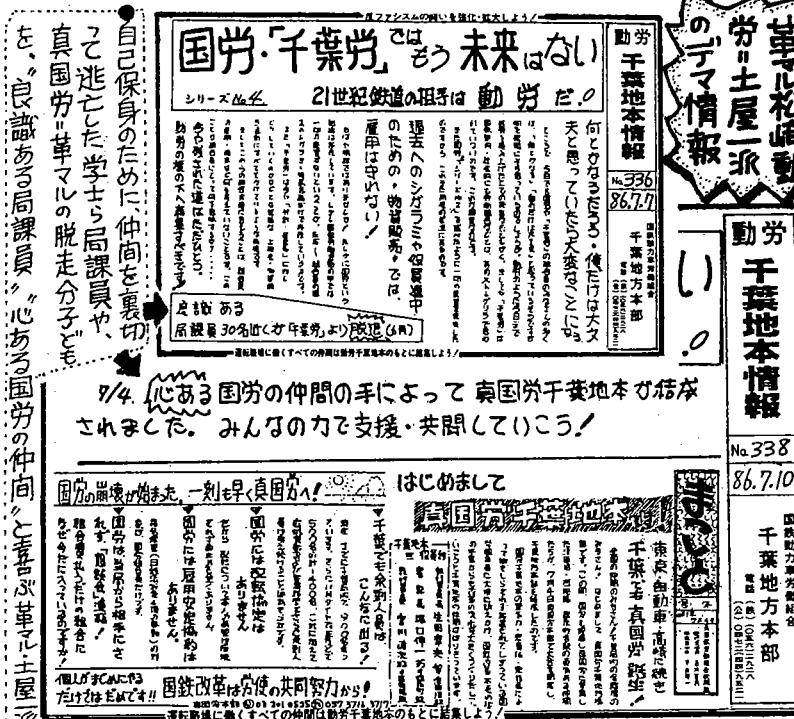
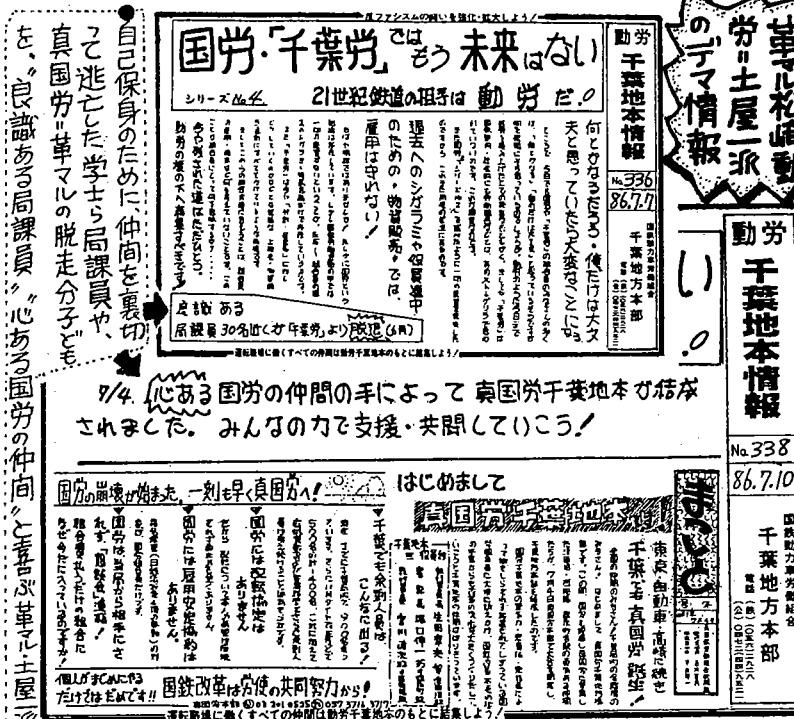
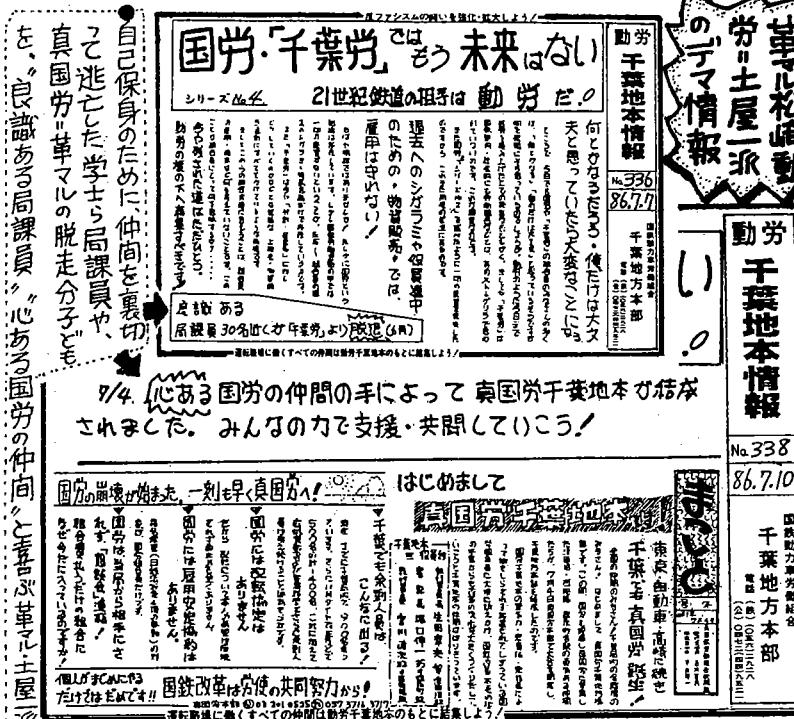
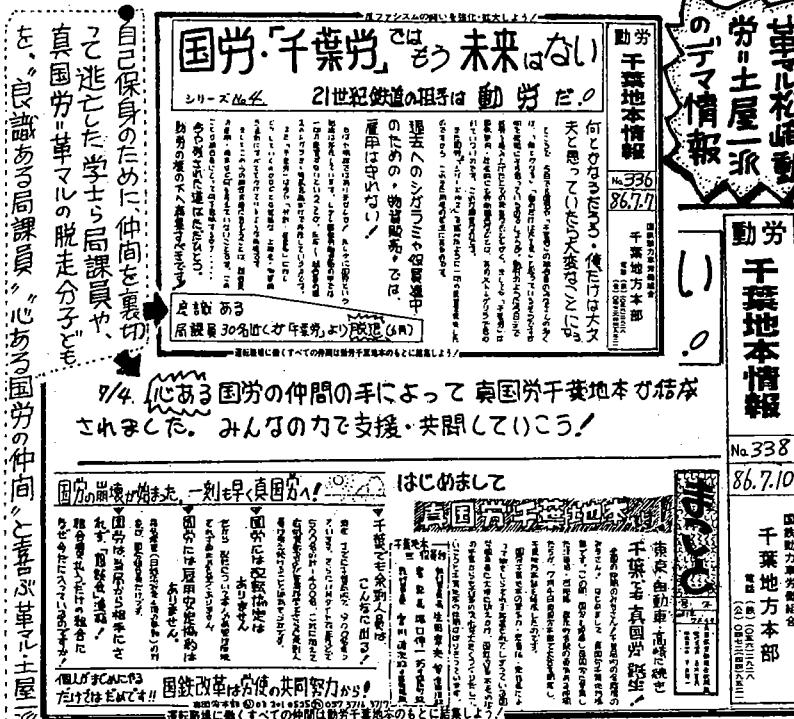
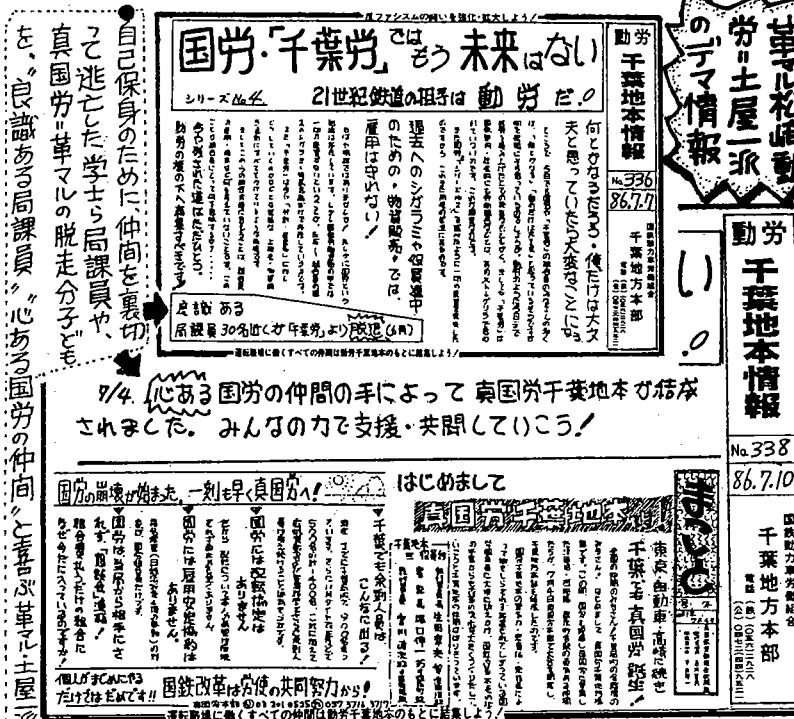
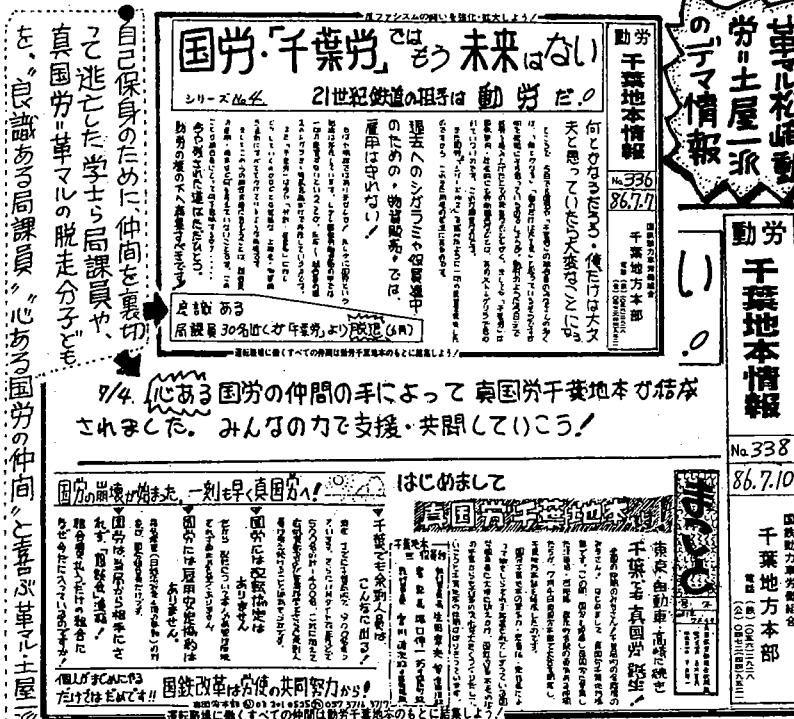
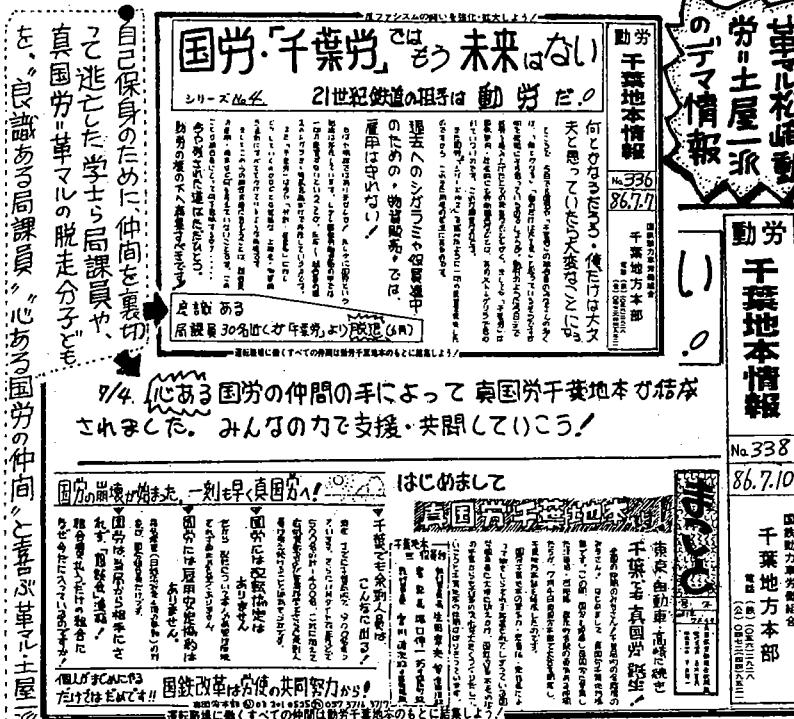
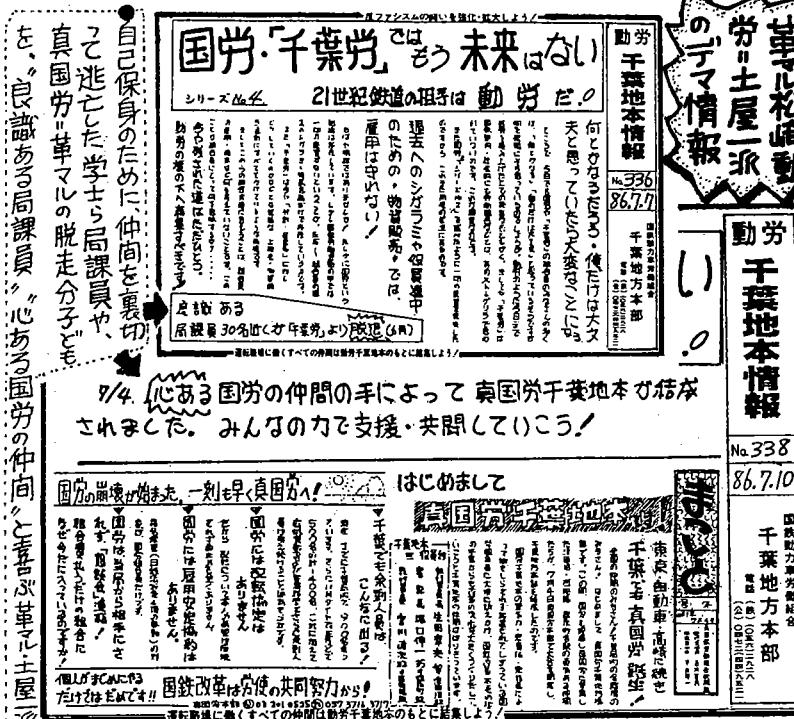
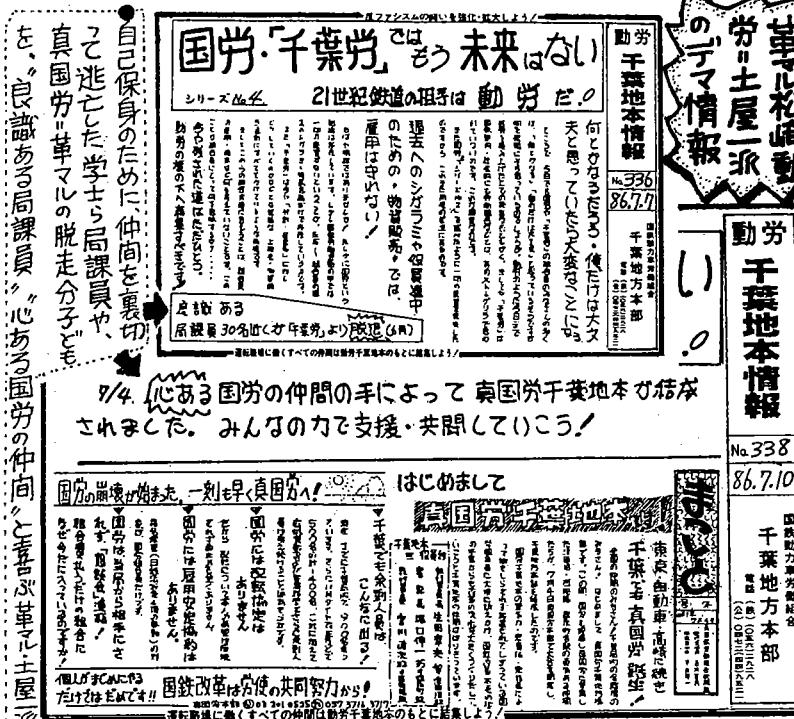
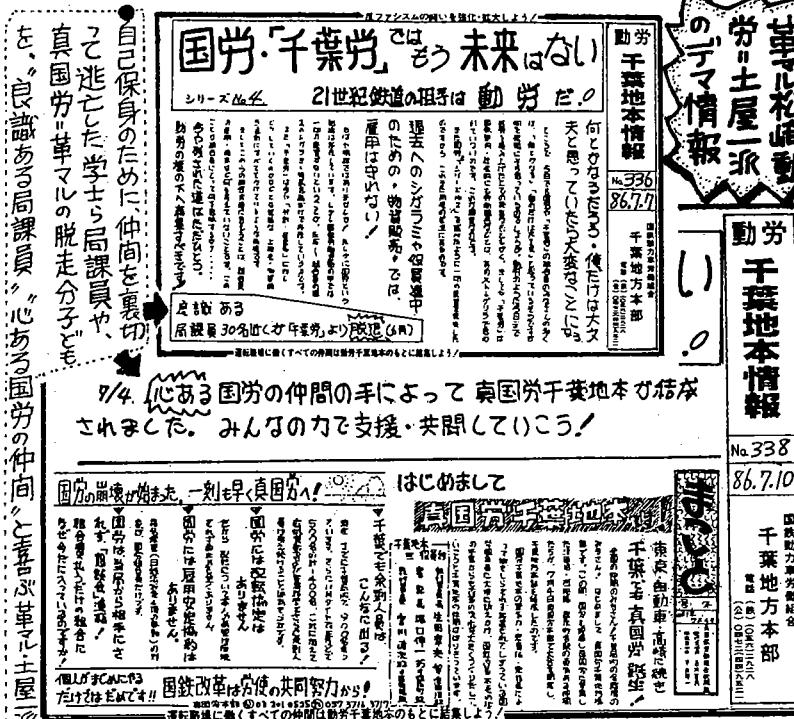
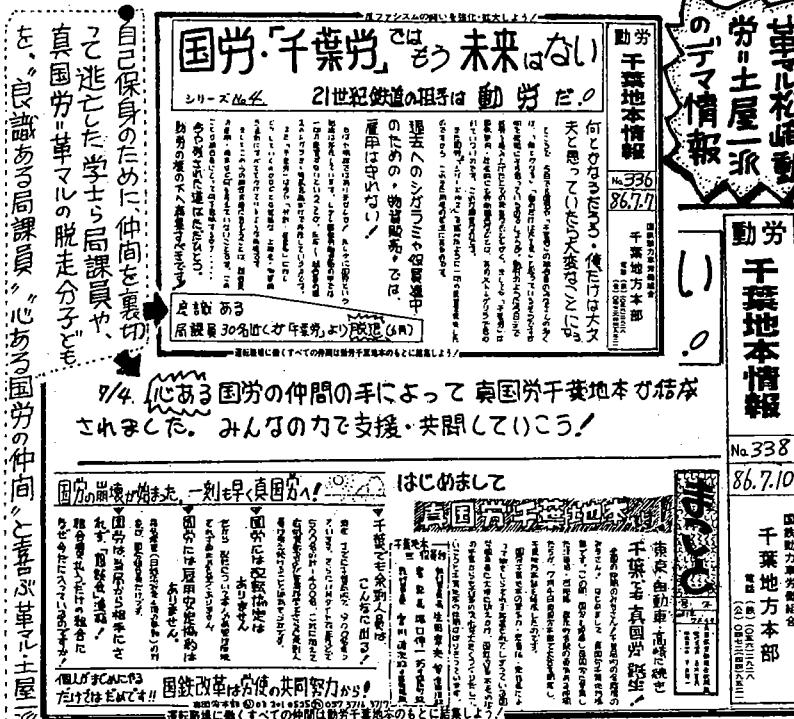
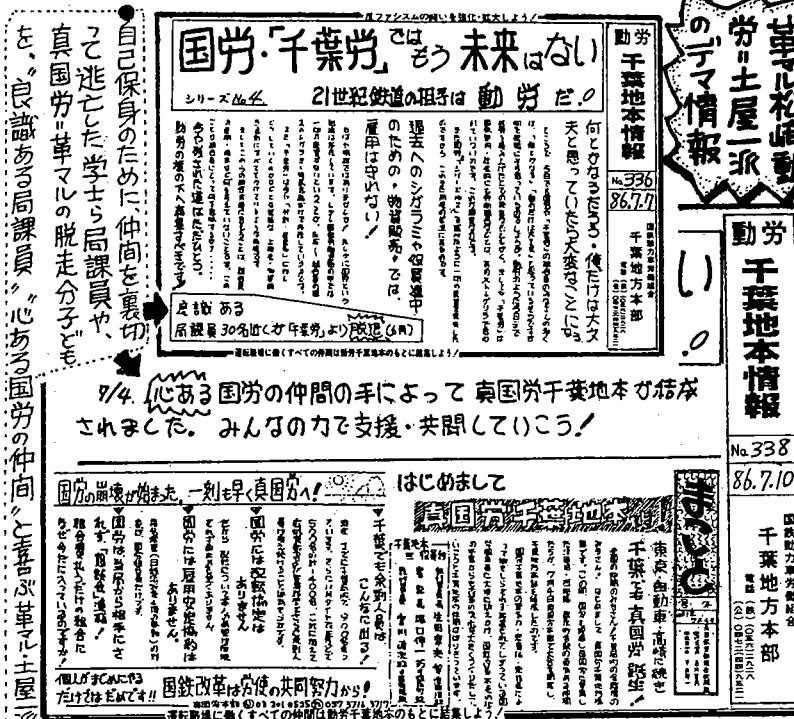
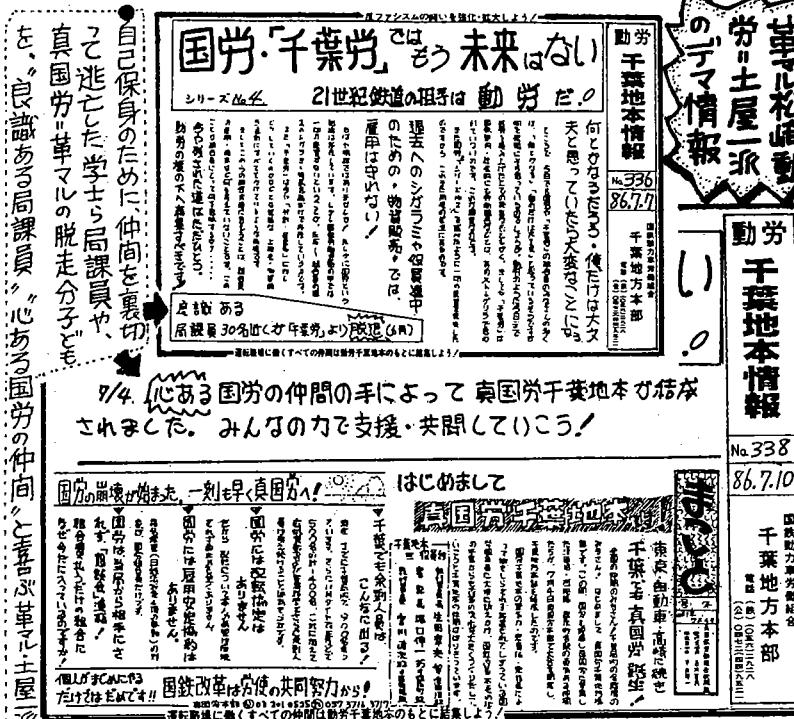
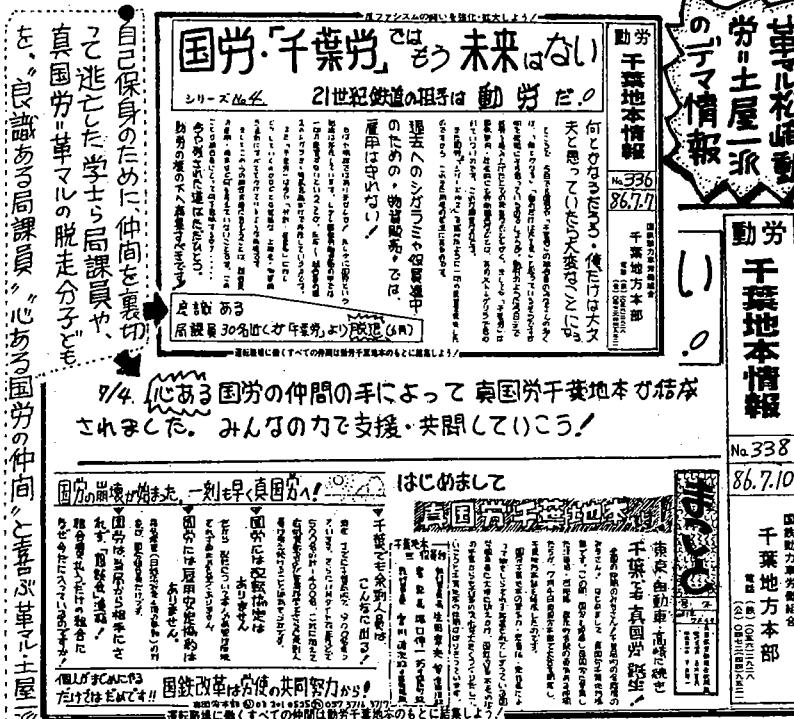
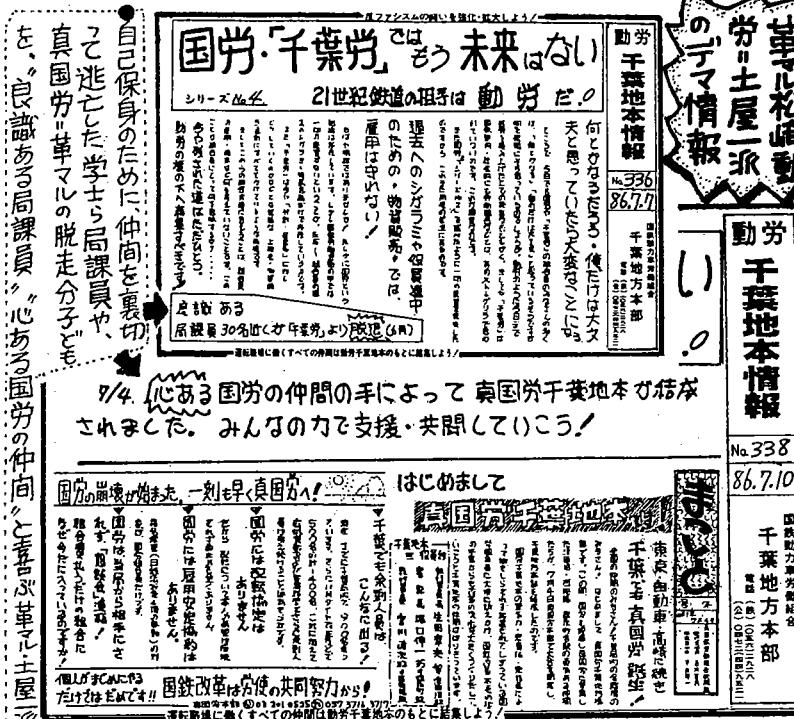
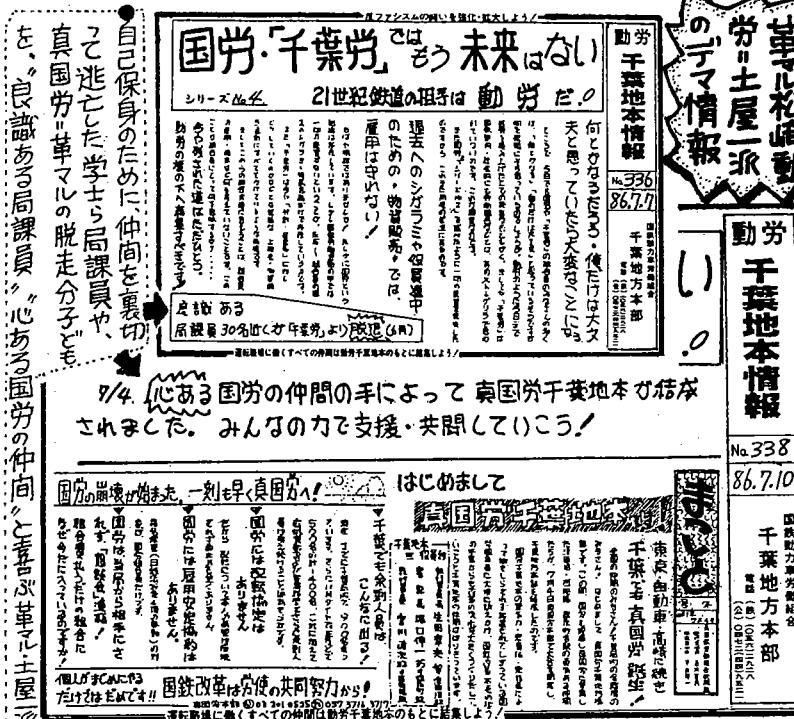
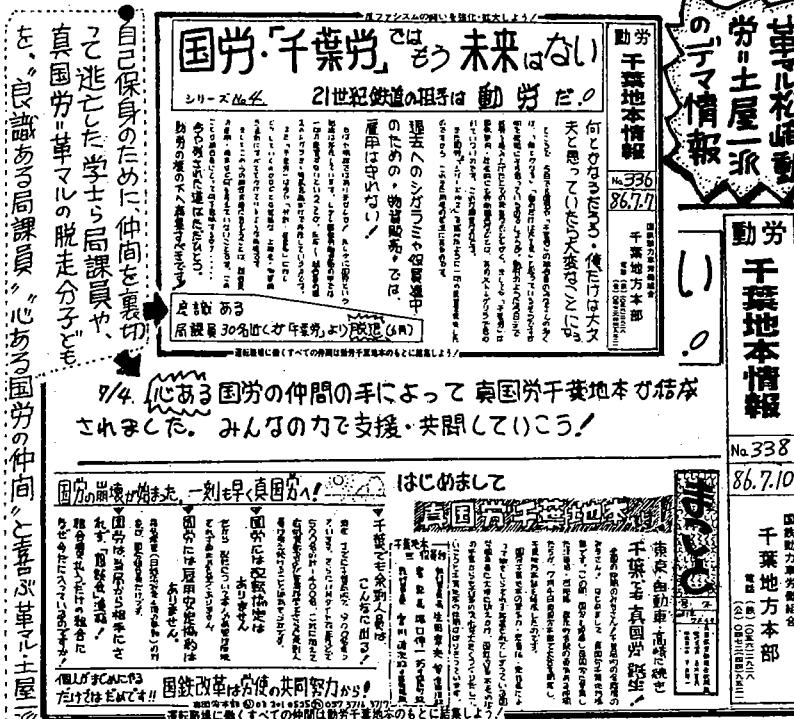
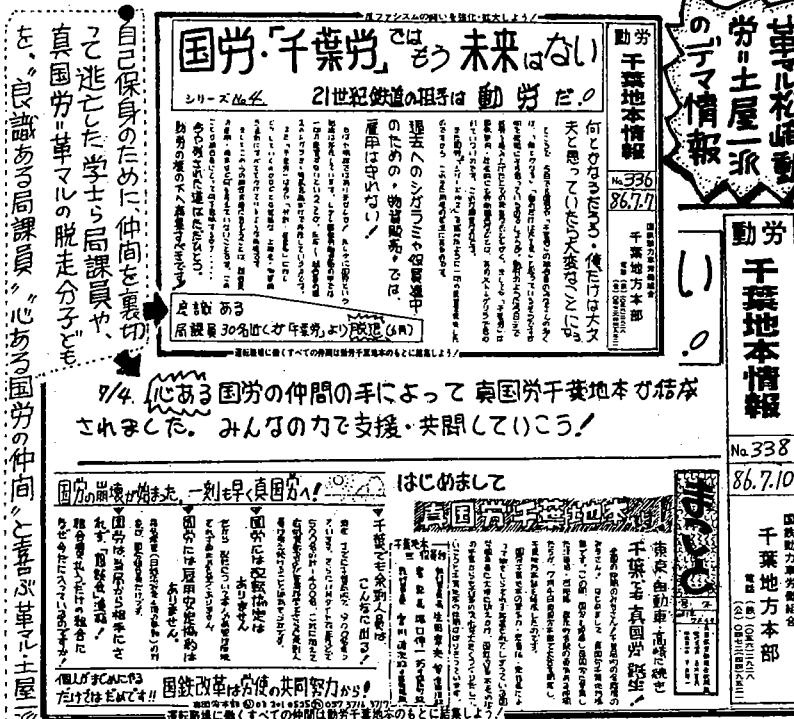
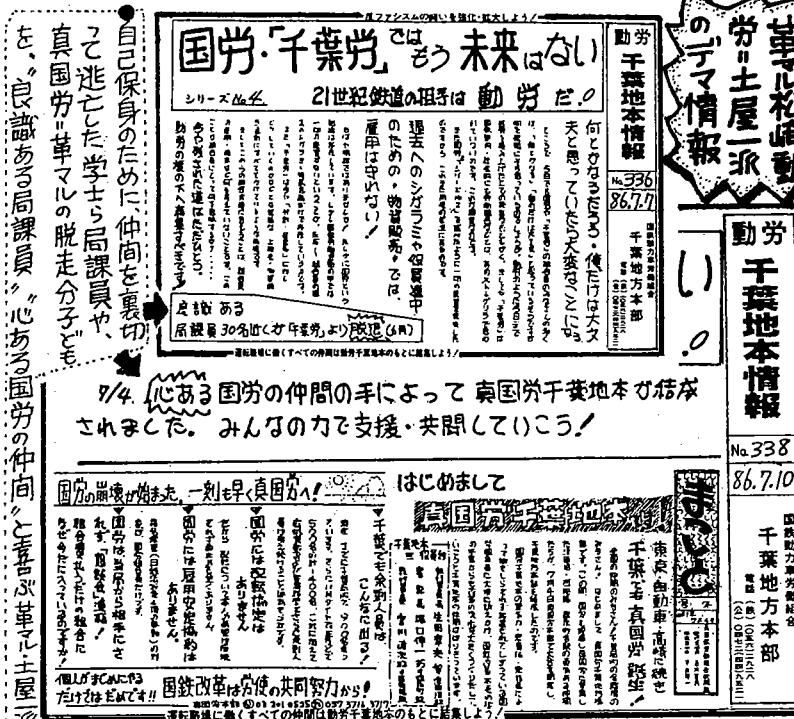
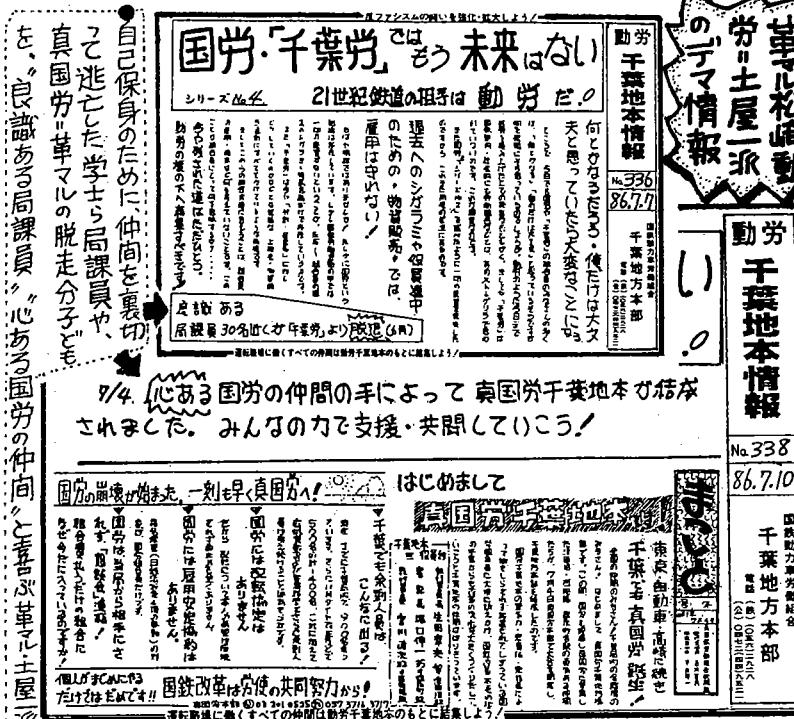
「革マル」の屈服に手をたたく鉄労

—利用され使い棄てられる運命の松崎一派

動労大会で松崎は、三塚や杉浦から「雇用保証」をとりつけるため『招待』するなど底知らずの松崎の屈服をいいことにそれを徹底的に利用して分



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！



# 「去るも地獄、残るも地獄」をうち破るために 座して死すよりも、今こそ起って反撃しよう！

向う方針を確立し、向う全潮流の団結と連帯で、全国ゼネスト体制をうち固めよう！

★差別・選別-10万人首切りを阻止し、雇用を獲保するため、「分割・民営化」を実力で粉碎しよう！

軒場の怒り・反撃力を信頼し、国鉄労働者の誇りにかけた全国ゼネストで展望をきりひらこう！

★「労使共同宣言」絶対反対！ 裏切り者=動労革マレー賀國男を解体しよう！

★「分割・民営化絶対反対」の全国潮流=向う国鉄労働者の大隊列をつくり出そう！

乞う、機関紙交換。あなたの  
軒場・分会の情報・機関紙を送って下さい。  
御一報あれば『日刊労働千葉』をお送りします

## 10万人首切り、財界の国鉄横奪を許さない！

ストライキの最前線にたつ  
動労千葉委員長の熱烈なアピール

●主要目次	
【グラビア】動労千葉はストライキで元気になります	●反撃を開始した国鉄労働者
第1章 国鉄分割・民営化に異議あり	●反撃を開始した国鉄労働者
第2章 三人に一人の首がとぶ	●反撃を開始した国鉄労働者
第3章 小さな組合が大決断する	●反撃を開始した国鉄労働者
第4章 ついに24時間ストライキへ	●反撃を開始した国鉄労働者
第5章 空前の弾圧体制下での決起	●反撃を開始した国鉄労働者
第6章 パンチが効いたか	●反撃を開始した国鉄労働者
第7章 ハラをすえなきやケンカはできない	●反撃を開始した国鉄労働者
第8章 座して死を待つより	●反撃を開始した国鉄労働者
第9章 敵も胸つき八丁だ	●反撃を開始した国鉄労働者
第10章 敵も胸つき八丁だ	●反撃を開始した国鉄労働者



本書をすいせんします

財界による国鉄の分割、横奪という一大ペテン——それを遂行するため労働者を差別・選別し、人権をうばい、組織を破壊するさまじい攻撃がかけられている。労働者はこの攻撃の前に屈服したかに見える。しかし、労働者は決してひるんではない。これに組織をあげて、敢然と対抗する部隊がいる。ここに鐵鎖以外に失なづべき何ものもたらない眞の労働者の姿がある。生命をかけ、階級の未来をかけたたたかいがここにある。

階級の未来をかけた  
たたかいがある

鎌倉孝夫  
・埼玉大学教授

社会評論社

東京都文京区本郷2-5-10  
03(814)3861  
郵便振替・東京7-89969

定価★1400円／送料200円 四六判・224頁／写真多數  
●全国の書店で好評発売中

国鉄千葉動力車労働組合(動労千葉) 千葉市要町2-8 動力車会館 0472-22-7207

(動労千葉教宣部でも扱っています。  
また、全国のどの書店でも送料無料で  
注文できます。)